

大阪都構想と寝屋川市 との関係は

維新の「大阪都構想」では、守口市、大東市、門真市など大阪市周辺8市もそのエリアに含まれていますが、公式な案とはなっていません。

09年3月の橋下知事のもとでの「大阪発地方分権改革ビジョン」では、18年までに府内の市町村を人口30万人以上の中核市にするとされています。

このとおり進めれば、大阪府下衛星都市のうち人口30万人を下回る36市町村を11市に合併、統合することになります。寝屋川市も合併の対象となります。

市町村合併は府下市町村に大きな混乱をもたらし、住民福祉の後退を招くことは避けられません。

「大阪都」構想は断念を 府会・大阪市会「協定書」を否決

やめるべき

巨大開発 市民サービス切り捨て

十月二十七日大阪府議会と大阪府議会が、「維新の会」が単独で決めた「協定書」を、「維新の会」以外のすべての会派によって否決しました。「大阪都」が、いまの大阪府を解体し、

その権限・財源を「都」にすいあげるものであること、そのねらいが「カジノ」や「なにわ筋線」、さらに「リニア」などの巨大開発をやりたい放題にすすめることにあること、そ

のための財源は市民サービスの徹底した切り捨てと「なんでも民営化」によって生みだすものであることが明らかになっています。

許されない

首長独裁の 「専決処分」

重大な問題は、議会で明白に「ノー」と結論が下されたにもかかわらず、橋下市長が、議会を無視して、首長が勝手に決める「専決」処分によって、「協定書」を「住民投票」にかける構えをみせ

ていることです。「地方自治法」には、市長が「専決」ができるのは「議会が開けないとき」「緊急を要する時」「議会が議決しないとき」など、厳しく限られた条件がつけられており、今回は

そのどれにもあてはまりません。議会否決の上になら、橋下市長らは「大阪都」構想をきっぱり断念すべきです。



政務活動費の不適切な支出が問題となっています。かつて「調査研究費」であったものが、「政務調査費」として法制化され、十三年四月からは「政務活動費」となりました。▼寝屋川市では、「不適切な支出の抜本的是正」を市民が求めて提訴し、判決にもとづいて使途基準の改善がされてきました。政務活動費に変更する際には、(一)使途の範囲を拡大しない(二)支出内容について、市民が閲覧しコピーできるようにいたしました。▼政務活動費で日本共産党の場合、今年度の例では、市民アンケートへの支出があります。約五万枚の市民アンケートを返信封筒付で各戸配布しました。アンケート作成費、返信の郵送料、市民報告チラシなど、多額の支出となりました。▼市民の意見をきちんとつかむことは、議員活動の基本です。日本共産党は必要な支出をしており、政務活動費はむしろ足りない状況です。▼市議会として支出内容の全面公開を積極的にすすめること、北海道函館市などで実施している領収書を含め、議会ホームページでの公開を私たちは提案しています。

- 発行 日本共産党 寝屋川市会議員団
- 824-1181(内線2399) FAX 824-7760
- Email:jcpnc@cc-net.or.jp NO.2598
- 太田 とおる 高柳2-49-2 826-1664
- 田中 ひさ子 国松町10-36 823-1714
- 中林 かずえ 宝町4-33 839-2289
- 中谷 光夫 高宮2-19-5 823-5947
- 松尾 信次 下木田町12-6 821-7427

学習会のご案内

日時 11月17日 (月) 午後6時～

場所 市立産業振興センター
第1セミナー室

内容 **・若者の働き方について
非正規雇用・ブラック企業の実態**
・死刑問題について

※弁護士の講演があります。

参加費 無料

主催 大阪中央法律事務所

TEL06-6942-7860

テストでナンバーワン

競うことが教育の目的なのか

児童生徒のおかれている環境は、常にストレスのかからない自由で、のびのびとした時間が十分保障される、ことが必要です。
しかし、このところ何かにつけて児童生徒にプレッシャーがかかる社会のうごきが多く、問題です。その上、学校や教育委員会までもが、あるべき「教育」の範疇を逸脱して事を運ぼうとしています。全国学力テスト成績公表問題もそのひとつです。寝屋川市では、市内全世帯に配布される市の広報で、全小・中学校の平均正答率を公表しました。

むしろ

オンラインワンをめざすべき

そもそも全国学力テストの実施が問題をはらんでいるのに、その結果を学校名をあげて公表するとは、問題を「教育」のあべき姿から離れた方向に向かうことに

なり、大変遺憾なことです。これは百害あって一利なしです。テストの成績を市広報などで公表すれば、学校ごとに成績による格差が歴然とし、児

童生徒や保護者にストレスやプレッシャーをかけることとなります。

学力テスト

学校別公表

避けるべき

教育は、児童生徒の人格形成に寄与することであり、テストによってナンバーワンを競い合わせることはいいはずで、むしろオンラインワンをめざすべきでしょう。

学力テスト成績の学校別の公表は、少なくとも避けるべきでしょう、そう望みたい。
(井上圭史・元寝屋川市教育委員)

法律相談のご案内

20日 (木) 18時半～
市民会館2階 第3・4会議室



松尾 信次

八日午後アルカスホールで、ウエンディコーラス(女性合唱団)二十五年度の会があり、会場は盛況でした。
妻が、六年前からその一員であり、私もコーラスを聴きに行きました。私が小・中学校で習った、懐かしい「美しい日本の歌」、金子みすず

の歌などの合唱に魅了されました。フルートの演奏もすばらしかったです。
妻はもともと歌うことが得意でなかったのですが、その成長ぶりに驚きです。山本先生、臼井先生をはじめ、関係者、仲間のみなさんに感謝です。